第２学年１組　体育科学習指導案

指導者　岩立　圭史
展開場所　体　育　館

１　単元名　表現リズム遊び　「いろいろなものになりきろう！」

２　単元について
（１）一般的な特性
【機能的特性】
・身近な動物や乗り物などの題材の特徴を捉え、そのものになりきって全身の動きで表現したり、軽快なリズムの音楽に乗って踊ったりする楽しさに触れることのできる運動である。
【構造的特性】
・仲間とのコミュニケーションが必要な運動である。
・自分のイメージや感じたことを自由に表現する探求型の運動である。
【効果的特性】
・自分の感じたことを表現したり、リズムに乗って全身で踊ったりすることにより調整力や持久力を高めることができる運動である。

（２）児童から見た特性
○　友達といろいろな動きを見付けて動いたり、模倣したり、調子を合わせたりすることで楽しむ運動である。

（３）児童の実態（男子１０名、女子１１名、合計２１名）
診断的授業評価

項目名	Mean（単元前）	評価
たのしむ（情意目標）	14.952	5
学び方（思考・判断）	13.714	5
できる（運動目標）	14.524	5
まもる（社会的行動目標）	14.810	5
合計得点	58.000	5

栗源小独自アンケート（未実施１名）

項目	１肯定	２やや肯定	３やや否定	４否定
①　体を動かすこと	18	1	1	0
②　体育でできなかったことができるようになったこと	16	1	2	1
③　運動のポイントやこつを意識	15	5	0	0
④　運動の仕方を工夫	16	2	2	0
⑤　たずねたり、教え合ったりしている	15	1	3	1
⑥　⑤は楽しいか	17	1	1	1
⑦　めあてをもって取り組んでいる	17	2	1	0
⑧　難しい技に挑戦	17	3	0	0
⑨　きまりやルールを守って運動	19	1	0	0
⑩　準備や後片付けを進んで行っている	17	3	0	0
⑪　安全に気を付けて運動	19	1	0	0
⑫　体育は好きか	18	2	0	0
⑬　表現リズム遊びは好きか	18	2	0	0
⑭　表現リズム遊びの学習で心配なこと	・踊るのが恥ずかしい ・笑いすぎてしまうこと			
⑮　表現リズム遊びの学習で楽しみなこと、頑張りたいこと	・なりきること ・体をたくさん動かすこと			

	・体を大きく動かすこと ・リズムに乗って体を動かすこと

診断的授業評価の結果から、「たのしむ・学び方・できる・まもる」の項目で５評価であった。しかし、「時間外練習」の項目の数値が低かった。

栗源小独自アンケートでは、肯定的な意見が多いが、「たずねたり、教え合ったりしている」で否定的な意見が、少し多かった。

（４）指導観

○　一人一人が自分の動きを追求し解決に向かうための工夫

リズム遊びでは、自由に踊らせることで、表現遊びでも自由に体を動かすことへの抵抗感を減らし、自分で動きを考えて取り組めるようにする。

表現遊びでは、前半の題材を５月に校外学習で行った千葉市動物公園の動物にすることで、イメージをしやすくする。

同じ題材でも、動きをかえている児童や場面を意識した動きをしていた児童を積極的に紹介することで、自分の動きをさらに追求できるようにする。

「何をしているかな。」といった問いかけやインタビュー、「周りはどうかな。」といった見合うための声掛け、「一緒にやろう。」といった共同させるため声掛けを行うことで、児童自身が、題材の特徴を生かした場面を考えたり、ふさわしい動きを見付けたり、友達の動きを模倣したりできるようにする。

３　単元の目標

○　身近な題材の特徴を捉え、全身で踊ることができるようにする。　（知識及び技能）

○　身近な題材の特徴を捉え、模倣したり、工夫したりするとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。　（思考力、判断力、表現力等）

○　進んで運動遊びに取り組み、誰とでも仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりすることで、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。　（学びに向かう力、人間性等）

４　評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①リズムに乗って全身で弾んで踊ることができる。 ②リズム遊びの楽しさを理解しているとともに生き物の特徴を捉え全身を使って楽しく表現することができる。	①題材の特徴を生かした場面を考えたり、ふさわしい動きを見付けたり、友達の動きを模倣したりしている。 ②題材の特徴を捉えて、友達に一番気に入った動きや様子を伝えている。	①学習のきまりを守り、安全に気を付け、誰とでも仲良く運動している。 ②発表会に向けて、表現リズム遊びに進んで取り組もうとしている。

5　指導と評価の計画

時間	1	2	3（本時）	4	5
0	・オリエンテーション ・ダンスウォーミングアップの確認	場の確認・準備運動・ダンスウォーミングアップ			
	リズム遊びのねらいを確認し、リズム遊びを行う。				
	表現遊びのねらいを確認し、表現遊びを行う。				
	○鳥類・水系ゾーン	○平原ゾーン	○モンキーゾーン	○忍者の国でへんしん	○おばけ・ようかいの国でへんしん 発表会
45	振り返り→整理運動→整列・健康観察				
知・技	①観察				②観察
思			①観察	②観察	
態		①観察			②観察

6　本時の指導（3／5）

（1）　目標

◎　題材の特徴を生かした場面を考えたり、ふさわしい動きを見付けたり、友達の動きを模倣したりしている。（思考力、判断力、表現力等）

（2）展開

過程	時配	学習内容と学習活動	指導（○）・評価（☆）	用具・資料
はじめ	2	1　集合、挨拶、健康観察をする。	○　児童の健康状態を把握する。 ○　見学者がいる場合には、状況により指示を出す。	
	8	2　準備体操、ダンスウォーミングアップを行う。 ダンスウォーミングアップ ・上げたり下げたり運動 ・お天気じゃんけん	○　準備体操を丁寧に行わせ、けがの防止につなげる。 ○　弾みながらテンポよく、行うよう声を掛ける。	リズム太鼓
なか	2	3　リズム遊びのねらいを確認する。 リズミカルな音楽に乗って全身で弾んで踊り、リズム遊びを楽しもう。		掲示物
	5	4　リズム遊びをする。 ・サンバ、ロック、EDM をかける。 ・リズムを感じながら踊る。 ・３人組で自由に踊る。 ・３人組でミラーになって踊る。	○　弾んで踊ることを助言する。 ○　へそを意識して全身でリズムに乗ることを助言する。 リズムに乗って踊ることが苦手な児童には、友達の動きの真似をしてよいことを伝える。	スピーカー

	3	5　表現遊びのねらいを確認する。 モンキーゾーンの動物になりきって、表現遊びを楽しもう。		
	15	6　表現遊びをする。 ・テナガザル 「テナガザルに変身。」 「えだをつかって移動しよう。」 「時々ジャンプ。」 ・ゴリラ 「ゴリラの国にやってきた。ゴリラに変身。」 「どんなゴリラがいるかな。周りのゴリラを見てみよう。」 「食べ物を探しに出かけよう。」 「木の上にリンゴを見つけた。登って取ってこよう。」 「リンゴを食べよう。」 「お腹いっぱい。寝よう。」 「朝だ。起きて。あくび。」 「さあ、出かけよう。」 「ゴリラのダッシュ。」 ・サル 「サルの山にやってきた。」 「どんなサルがいるかな。周りのサルを見てみよう。」 「ボスザルはいるかな。」 「けんかしそうだぞ。」 「サルの友達を見つけたぞ。集まって何をするのかな。」 「ご飯の時間だ。」 「お腹いっぱいになった。仲間と遊ぼう。」	○　手を大きく動かしている児童を紹介する。 ○　踊っている児童にインタビューをして、何をイメージしているか発表させる。 ○　児童の動きを見て、具体的な指示を出すのか、問いかけにするのか考えながら発問をする。 ○　手を着きながら動いている児童を見取り、その動きの児童を紹介する。 ○　複数人で踊っている児童がいれば、紹介をする。 ○　踊っている児童にインタビューをして、何をイメージしているか発表させる。 表現の仕方がわからなかったり、表現することを恥ずかしいと感じたりする児童には、友達の動きの真似をしてよいことを伝える。 ☆　題材の特徴を生かした場面を考えたり、ふさわしい動きを見付けたり、友達の動きを模倣したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】(観察・発言)	リズム 太鼓
	5	7　集合して、様々な動きを見る。 ・テナガザル、ゴリラ、サルの動きをやってみたい人を募り、発表する。	○　踊っている児童にインタビューをして、何をイメージしているか発表させる。 ○　見ている児童に、好きな動きを見つけさせ、発表させる。	

まとめ	5	8　本時のまとめをする。 ・本時の活動を振り返る。 ・整理運動をする。 ・健康観察、整列、挨拶をする。	○　学習カードの観点に従って自己評価するよう助言する。 ○　なりきった動物の動きや楽しかったことを中心に振り返るようにする。 ○　使った部位をゆっくりほぐすようにする。また、けががないかも確認する。 ○　健康観察を行い、次時の学習を確認する。	学習カード